

運用実績

基準価額

15,360円

前月末比

+463円

純資産総額

160.10億円

※基準価額は信託報酬控除後の値です。

ファンド設定日 : 2015年7月10日

基準価額等の推移



※基準価額及び税引前分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後の値です。
 ※税引前分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものととして算出しています。
 ※税引前分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

資産構成 (単位 : 百万円)

ファンド	金額	比率
マザーファンド	15,973	99.8%
現金等	37	0.2%

マザーファンド	金額	比率
国内株式	39,365	97.0%
現金等	1,232	3.0%

※本ファンドは、中小型割安成長株・マザーファンドを通じて実質的に株式に投資しています。
 ※現金等には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

期間収益率

	設定来	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年
ファンド	76.09%	3.11%	2.61%	3.14%	3.89%	12.89%	-7.32%

※期間収益率は税引前分配金を再投資したものととして算出した税引前分配金再投資基準価額により計算しています。

収益分配金 (税引前) 推移

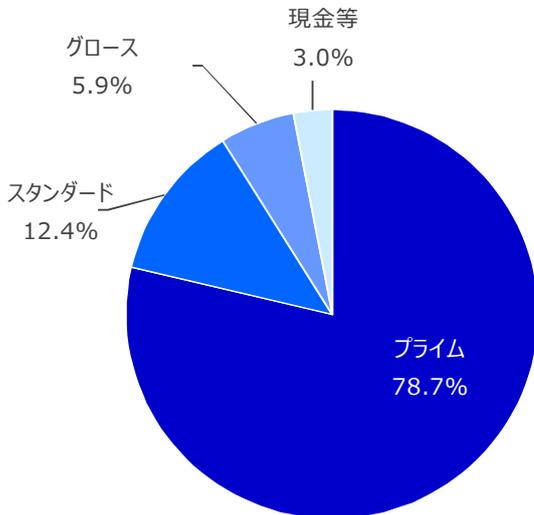
決算期	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	設定来累計
決算日	2021/1/22	2021/7/26	2022/1/24	2022/7/22	2023/1/23	
分配金	70円	120円	0円	20円	0円	1,840円

※収益分配金は1万口当たりの金額です。

※分配金は過去の実績であり、将来の分配金の水準を示唆・保証するものではありません。

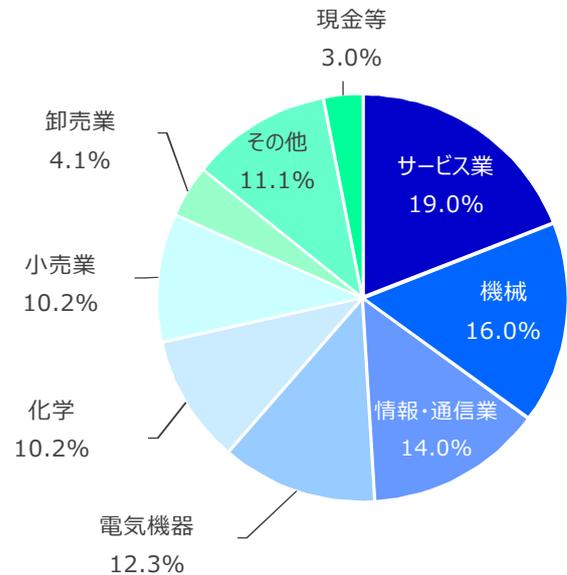
マザーファンドの状況

市場別組入比率



※組入比率はマザーファンドの純資産総額比
 ※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

業種別組入比率



組入上位10銘柄

	証券コード	銘柄名	市場区分	業種	比率
1	6465	ホシザキ	プライム	機械	3.5%
2	7581	サイゼリヤ	プライム	小売業	3.3%
3	6670	M C J	スタンダード	電気機器	3.2%
4	3676	デジタルハーツホールディングス	プライム	情報・通信業	3.1%
5	2317	システナ	プライム	情報・通信業	3.0%
6	6284	日精エー・エス・ビー機械	プライム	機械	3.0%
7	6067	インパクトホールディングス	グロース	サービス業	2.9%
8	6800	ヨコオ	プライム	電気機器	2.7%
9	4771	エフアンドエム	スタンダード	サービス業	2.6%
10	3854	アイル	プライム	情報・通信業	2.6%

組入銘柄数

51銘柄

※組入比率はマザーファンドの純資産総額比。
 ※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
 ※本ファンドはファミリーファンド方式で運用を行っているため、マザーファンドの運用状況を表示しています。

市場動向及び企業動向等

※企業調査概況は、本ファンドのマザーファンドに助言しているエンジェルジャパン・アセットマネジメントからのコメントです。

※ご紹介する企業はファンドのコンセプトをご理解いただくためのものであり、個別企業の推奨をする目的ではありません。

当月の市場動向

1月の国内株式市場は、米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催されない月であり、12日（現地）発表の米消費者物価指数（CPI）、18日開催の日銀金融政策決定会合などが注目されました。月初、強まる景気減速懸念と円高により下げて始まりまし。日銀の政策変更への期待に銀行株が上昇しました。その後、米国の低調なISM景況指数に米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げ加速への懸念が緩和されたことやドル高円安が材料となり上昇しました。米消費者物価指数（CPI）を見て米利上げ懸念は後退したものの、円高が続いたことから一時的に日本株は下落しました。しかしながら、18日の日銀金融政策決定会合では、日銀が金融緩和策の現状維持を決めたため、円高リスクが後退したとの見方から銀行を除き多くの企業の株が上昇しました。その後も、米金融当局者の金融引き締めペースの緩和を示唆する発言、中国のコロナ禍からの経済活動正常化への期待、欧州での良好な経済指標の発表などが海外市場で株価の支援材料となりました。海外市場が堅調に推移する中、日本株も堅調に推移し月間の高値水準で引けました。個別銘柄では、日本製鉄、SMCなどの景気に敏感な外需依存の高い銘柄の上昇が大きくなりました。一方、小野薬品工業、イーザイなどのディフェンシブ性の高い銘柄の下落が大きくなりました。

この結果、当月の指数の動きはTOPIX +4.42%、日経平均株価 +4.72%、東証マザーズ指数 +6.23%となりました。

東証33業種別では、世界景気の回復への期待などから鉄鋼、電気機器などが好調でした。一方、ディフェンシブセクターの医薬品、需給見通しが懸念された海運が不調でした。

企業調査概況

3年ぶりに行動制限のない年末年始となり、漸く帰省、旅行、初詣、初売りなどに賑わいが戻ってきました。観光地や空港・主要駅で多くの方が体感されたことだと思います。さらに、政府は5月8日に新型コロナを今の「2類相当」から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行する方針を決定しました。法律に基づいた行動制限はなくなり、一般的な風邪など同様の自主的な判断に移行することから、経済活動はより一層正常化に向けて動き出すことが予想されます。もちろん、足元で第8波が進行していますので警戒を怠ることは禁物ですが、約3年にわたって続いたコロナ禍が、新たな局面に入っていくのは間違いないでしょう。

もっとも、多くの企業は一足先にコロナ後を見据えた事業展開へ動き出しています。「もはやコロナを言い訳にしない」という言葉は、多くの経営者の方々が昨年頃から口にされていたことです。同じように、最近では製造業を中心に「もう円安を言い訳にしない」、「原料価格高騰を減益の理由にできない」といった言葉が聞かれるようになりました。外部環境の変化は激しいものの、先を見据えている企業は迅速に対策を打ち、環境が改善する局面で取り返そうという姿勢を見せています。この点で中堅・中小・新興企業の動きは非常にスピード感があり、個別直接面談調査をしている中で感心させられることが多いです。実際、円安や原材料価格はピークアウトしてきており、今後は厳しい中で取り組んできたコスト削減努力、価格転嫁、販売促進活動などが報われることになりそうです。

今年も中小型株は目まぐるしく変化することが予想されますが、当ファンドといたしましては引き続き個別直接面談を中心に積極的な調査・分析を行い、魅力的な50社パッケージを作っていくと思います。

組入銘柄のご紹介

※本ファンドのマザーファンドに助言しているエンジェルジャパン・アセットマネジメントからのコメントです。

※ご紹介する企業はファンドのコンセプトをご理解いただくためのものであり、個別企業の推奨をする目的ではありません。

組入銘柄のご紹介 ～エフアンドエム（4771）～

今月は、個人事業主や中堅中小企業向けにバックオフィス業務（経理、人事、総務など顧客との接点がない間接業務）のサポートを行っている「エフアンドエム」をご紹介します。これら小規模事業者は、わが国の全事業所の99%を占めるにもかかわらず、情報が行き届いていないことに加えて企業向けサービスの大半が大企業向けであるなど、不利な立場に置かれています。そこで同社は、この状況を解消すべく、バックオフィスの生産性を高めるため、個人事業主や中堅中小企業向けに最適化したサービスを提供しています。

祖業でもあるアカウンティングサービス事業は、個人事業主及び小規模企業向けの会計サービスで、主に生命保険の営業職員向けに提供されています。記帳代行業務を行っており、日々の煩わしい業務から解放されることで支持され、年々会員数を増やしています。

現在の主力事業であるコンサルティング業務は、中小企業向け管理部門支援サービスです。『エフアンドエムクラブ』という会員組織を組成しています。月額制で、資金繰りや労務管理、採用、社員教育、補助金申請、経営アドバイス、などのサービスを包括的に提供しています。なかでも補助金申請のサポート業務は、豊富な実績とノウハウを蓄積しており、需要も強いことから、顧客獲得のフックとなっています。地銀など地域に根差した金融機関198行（2022年9月末）と提携して、顧客の深堀を進めています。

さらに、もう一つの成長分野となっているのがビジネスソリューション事業で、独自に開発した人事労務クラウドソフト『オフィスステーション』シリーズを提供しています。年末調整、マイナンバー管理、給与明細（各種情報端末での提供）、有休管理など、個々の機能がパッケージ化されているのが特徴で、必要な機能を選んで使えるため、低価格での利用が可能になります。業務効率化のためにDX化（デジタルによる業務革新）を急ぐ企業の需要を掴んでいます。このように、今後も顧客ニーズに合ったサービスを拡充していくことで持続的な成長を目指します。

組入銘柄のご紹介 ～ヨコオ（6800）～

今月は、自動車と半導体という二大産業で重要な役割を務め、業容を拡大する「ヨコオ」をご紹介します。2023年3月期上期の売上高の55%を占める車載通信用アンテナは、かつてはAM/FMラジオを受信できれば十分でしたが、現在はカーナビゲーションの位置情報、デジタル放送、ETC（電子料金収受システム）、電子キーなど、多種多様な波長（周波数）の電波を受信する機能を有しています。したがって、車載アンテナは高感度で電波を受信するという基本性能に加えて、複数の機能を一体化させる複合化や小型化も求められます。同社は長年蓄積してきた電波に関する技術に加え、製品を小型化する技術も駆使して、自動車メーカーの高い要求水準に応えています。

今も金属パイプを組み合わせたアンテナがラジオ等で使われていますが、創業者が精密パイプの加工職人であったことが、同社がアンテナの製造に取り組むきっかけでした。その金属加工技術を駆使して開発した極細のスプリングピンが、半導体・電子部品の回路検査に使われており、売上高の32%を占める回路検査用コネクタとなっています。同事業は、一見すると車載通信用アンテナとのつながりが見出しにくい事業ですが、実は根底の技術の部分でつながっているわけです。また、高速通信に使われる半導体・電子部品には高周波の電流が流れるため、回路検査コネクタにも高周波に対する知見が求められており、そこでも多種多様な周波数の電波を受信するアンテナの知見が活用されています。

将来の自動車は、ADAS（先進運転支援システム）や5G（高速大容量通信）への対応が必須であり、自動車産業は大きな変革期を迎えています。そのなかで電波を捉えるアンテナの重要性は高まっており、取得した情報を瞬時に演算する半導体製品の性能向上も欠かせません。二大産業に軸足を置いて事業を展開する同社の存在感は、ますます高まることでしょう。

愛称：jrevive II

追加型投信／国内／株式

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

本ファンドは、中小型割安成長株・マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引市場に上場する中小型株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。

ファンドの特色

- 株価が下落した銘柄から財務安定性に優れ、業績も安定しており、わが国の経済社会に貢献すると考えられる企業の株式に厳選投資します。
- エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社より投資に関する助言を受けて運用します。

「エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社の概要」

設立	2001年12月4日 関東財務局長（金商）第641号
経営理念	「企業家精神を応援し続け、経済社会の活性化に貢献する」という明快な理念の元、革新的な成長企業などへの投資に対する助言
特徴	①革新的な成長企業（新規株式公開企業等を含む）を中心とした調査・分析・投資助言に特化 ②徹底した個別直接面談調査に基づく厳選投資 ③投資リスク軽減のため、投資後も定期的な企業訪問を行い、充実した調査・分析を継続

投資リスク

基準価額の変動要因

本ファンドは、マザーファンドを通じて主に国内株式に投資を行います。株式等値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する中小型株式等の価格変動は、株式市場全体の平均に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

主な変動要因

価格変動リスク	一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、国内外の経済・政治情勢、市場環境・需給等を反映して変動します。本ファンドは株式の価格が変動した場合、基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。
流動性リスク	株式を売却あるいは取得しようとする際に、十分な流動性の下での取引を行えず、市場実勢から期待される価格で売買できない可能性があります。この場合、基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。
信用リスク	投資した企業や取引先等の経営・財務状況が悪化するまたは悪化が予想される場合等により、株式の価格が下落した場合には基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- ・ 本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・ 本ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待される価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- ・ 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- ・ 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・ 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・ 本ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。当該運用方式には運用の効率性等の利点がありますが、投資対象とするマザーファンドにおいて、他のペーパーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じた場合などには、本ファンドの基準価額は影響を受けることがあります。

リスクの管理体制

委託会社では、ファンドのパフォーマンスの分析及び運用リスクの管理をリスク管理関連の各種委員会を設けて行っています。流動性リスクの管理においては、委託会社が規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行います。取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

愛称：jrevive II

追加型投信／国内／株式

お申込みメモ

購入単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。(当初元本1口=1円) 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 (ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購入代金	販売会社の定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額となります。 換金手数料はかかりません。
換金代金	換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いいたします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受けた分を当日のお申込み分とします。 ※受付時間は販売会社によって異なることありますのでご注意ください。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口解約には制限を設ける場合があります。
購入・換金 申込受付の中止 及び取消し	金融商品取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及び既に受けた購入・換金のお申込みの受付を取消す場合があります。
信託期間	無期限(設定日:2015年7月10日)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には繰上償還となる場合があります。
決算日	年2回(原則として1月と7月の各22日。休業日の場合は翌営業日。)
収益分配	年2回決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※販売会社によっては分配金の再投資コースを設けています。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。 ※税制が改正された場合には、変更となる場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家にご確認されることをお勧めします。

愛称：jrevive II

追加型投信／国内／株式

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に3.3%（税抜：3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。詳細は販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に0.3%を乗じて得た額とします。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に年1.848%（税抜：年1.68%）を乗じて得た額とします。信託報酬は毎日計上され、毎計算期末及び信託終了のときにファンドから支払われます。 信託報酬 = 運用期間中の基準価額 × 信託報酬率
その他の費用 及び手数料	ファンドの監査費用、有価証券売買時の売買手数料、信託事務の諸費用、目論見書・有価証券届出書・有価証券報告書・運用報告書作成などの開示資料の作成、印刷にかかる費用及びこれらに対する税金をファンドより間接的にご負担いただきます。監査費用を除き運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。

※投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社、その他関係法人

委託会社	SBI アセットマネジメント株式会社（信託財産の運用指図、投資信託説明書（目論見書）及び運用報告書の作成等を行います。） 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第311号 加入協会/一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社（ファンド財産の保管・管理等を行います。）
販売会社	※最終頁をご参照ください。（受益権の募集・販売の取扱い、及びこれらに付随する業務を行います。）

愛称 : jrevive II

追加型投信 / 国内 / 株式

販売会社一覧 (1 / 2)

金融商品取引業者名		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第44号	○	○		○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第195号	○	○	○	○
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第2251号	○	○	○	○
株式会社静岡銀行*	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第5号	○	○		
スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第8号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第61号	○	○	○	○
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第53号	○	○	○	○
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第67号	○	○	○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第164号	○	○		
株式会社東京スター銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第579号	○	○		
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第10号	○	○		
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第624号	○	○		
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第134号	○			
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第7号	○	○		
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長 (登金) 第6号	○			
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第3号	○			
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第633号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第140号	○	○		○
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第152号	○		○	
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長 (登金) 第1号	○	○		
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第43号	○	○		
株式会社SBIネオトレード証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第8号	○	○		

* 株式会社静岡銀行では、インターネットのみの取扱いです。

愛称：jrevive II

追加型投信／国内／株式

販売会社一覧 (2 / 2)

金融商品取引業者名	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社SBI新生銀行*(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第10号	○	○	
株式会社SBI新生銀行*(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第10号	○	○	

■販売会社では、受益権の募集・販売の取扱い、及びこれらに付随する業務を行います。

*株式会社新生銀行は、2023年1月4日より、株式会社SBI新生銀行へ商号変更致しました。

本資料のご留意点

○本資料は、SBIアセットマネジメントが作成した販売用資料で、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○当ファンドをお申込みの際には、必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。